View metadata, citation and similar papers at core.ac.uk
brought to you by CORE
provided by Xiamen University Institutional Repository

学校编码 :10384　　分类号_____密级_____

学号 :200404068　　UDC_____

厦门大学

硕 士 学 位 论 文

成語の翻訳技法について

—『紅楼夢』における翻訳実用例を中心に

成语翻译技巧研究

——以《红楼梦》中的翻译实例为中心

张志凌

指导教师姓名：雷慧英　　教授

专 业　名 称：日 语 语 言 文 学

论文提交日期：2007 年　4 月

论文答辩时间：2007 年　　月

学位授予日期：2007 年　　月

答辩委员会主席：_____

评　　阅　　人：_____

200 年 月

厦门大学博硕士论文摘要库

厦门大学学位论文原创性声明

兹呈交的学位论文，是本人在导师指导下独立完成的研究成果。本人在论文写作中参考的其他个人或集体的研究成果，均在文中以明确方式表明。本人依法享有和承担由此论文而产生的权利和责任。

声明人（签名）：

年　　月　　日

厦门大学博硕士论文摘要库

厦门大学学位论文著作权使用声明

本人完全了解厦门大学有关保留、使用学位论文的规定。厦门大学有权保留并向国家主管部门或其指定机构送交论文的纸质版和电子版，有权将学位论文用于非赢利目的的少量复制并允许论文进入学校图书馆被查阅，有权将学位论文的内容编入有关数据库进行检索，有权将学位论文的标题和摘要汇编出版。保密的学位论文在解密后适用本规定。

本学位论文属于

1、保密（　），在　　年解密后适用本授权书。

2、不保密（　）

（请在以上相应括号内打“√”）

作者签名：　　日期：　　年　月　日

导师签名：　　日期：　　年　月　日

厦门大学博硕士论文摘要库

厦门大学博硕士论文摘要库

レジュメ

ご存知のように、成語は中国語の中で熟語の重要な一部である。数量が多く、使用範囲が広範で使用頻度が高い。それに、成語がわが国の歴史や文化に深く絡んでいる上、形式も固定的である。このため、翻訳が難しい。一方、日本語には中国語から借用された成語がある。が、その中の一部は意味や使用率が中国語と異なっているので、成語の中日翻訳が複雑になっている。しかし、今まで、成語についての中日熟語翻訳研究が極少ない。この故、筆者は実際の翻訳に役立つように、文学作品における翻訳実例を利用し、成語の中日翻訳技法や特徴、問題点などを研究することにした。

小論の構成は次のようである。第一章では、主に『紅楼夢』の日本語版における成語の翻訳実例を調べ、その翻訳技法をまとめる。第一節では、先ず、成語を中国語から借用された成語に訳した例を調べてみたが、このような実例は少ないようである。これは中国語から借用された成語の使用率が低いからであろう。また、成語を四字熟語や諺、慣用句に翻訳した例を考察し、それぞれの長所や注意点を分析してみる。

第二節では、成語の直訳についてであるが、現代日本語、或いは古代日本語で成語を説明することである。調べてみると、古代日本語で説明された例での成語は殆ど出典を持っており、或いは、出典を持つと同時に古代中国語の文法構造も持っている。出典のある成語は注を付けたことが多い。また、一部の成語は訳者が直訳したのち、日本語の熟語を付けている。第三節では、成語の意訳を考察した。主には構造成分の省略翻訳、意味の省略翻訳、擬声語や擬態語に訳す技法があり、実例が多い。

厦门大学博硕士论文摘要库

第二章では、成語の翻訳における落とし穴について論じる。第一節では中国語から借用した日本語の成語についてである。日本語において、中国語から借用された成語は使用頻度が中国語ほどではないため、訳語の選択に注意する必要がある。又、借用の過程で、一部の成語は形があまり変わっていないが、意味が変わったので、誤訳の可能性もある。第二節では、成語自身の特徴から生じた翻訳の落とし穴についてである。ある成語は雅言という特徴がある。このため、原文の雅言的特徴を伝えるように、俗的言葉を避ける必要がある。特に、諺や慣用句に翻訳する時、よく考慮する必要がある。それに、成語は文化的要因を含んでおり、民族特色も強い。翻訳する時、それを伝えるように注意する必要がある。

第三章では上記の翻訳技法と落とし穴をまとめる。翻訳で成語の文化的要因などを考慮して、訳語の意味を確認してから、上記の翻訳技法を用いることである。

キーワード：成語の翻訳；文化的要因；落とし穴

厦门大学博硕士论文摘要库

摘　要

众所周知，成语是汉语熟语的重要组成部分，数量很多，使用广泛。成语与我国历史、文化有着密切关系，形式也较为固定。因此，翻译难度比较大。另一方面,日语当中也有从我国汉语借用过去的成语。但是，日语的成语定义和意义与汉语不尽相同，使成语的汉日翻译更为复杂。

迄今为止,中日两国对成语汉日翻译的研究很少，更谈不上有深入研究。基于这一原因,笔者尝试通过调查文学作品的翻译实例,研究成语的基本翻译方法、特点以及翻译时要注意的问题。期盼拙文能对今后的实际翻译工作有所帮助。

拙文分为三章。在第一章里主要调查了《红楼梦》翻译成日语版本中的成语翻译实例，并对其翻译方法做了归纳。第一节首先考察了从汉语借用的成语的例子。但此类译例较少。通过调查研究可知，这与日语中成语的使用频率较低有关。其次，考察了成语译为四字熟语，谚语和惯用语的情况，并分析了各自的优点和需注意的问题。在第二节探讨了成语的直译问题。直译可分为现代日语和古代日语解释两种情况。用古代日语解释的成语多有典故，部分成语不但有典故，还保留了古代汉语的语法特征。有的成语在直译的基础上，还附上日语熟语作为二次解释；部分有典故的成语还加有注解。第三节考察了成语的意译方式。有省略结构成分的翻译、省略含义的翻译和译为拟声拟态词之分。

第二章着重探讨成语翻译过程中易犯的错误。第一节主要从日语成语角度进行阐述。日语中成语的使用频率较低，因此在翻译过程中，须避免使用频率低的译语。此外，在借用成语的过程中，部分成语意义发生了变化，出现形同意异的情况。因此，翻译时要避免误译。第二节主要从成语自身特征加以分析。部分成语具有雅言特征，在翻译时，须避免运用俗语，尤其在翻译为谚语和惯用语时要特

厦门大学博硕士论文摘要库

别注意。部分成语含有文化因素，具有强烈的民族特色。在翻译过程中，须注意对原文中文化因素的传递。

第三章主要是对上述的翻译法和容易出现错误的问题加以总结。在实际翻译过程中，应在分析成语特征和日语译语的基础上，运用各种翻译技巧，使成语的翻译工作有一个新的提高。

关键词：成语翻译；文化因素；翻译陷阱

厦门大学博硕士论文摘要库

目　次

序論……1

第一章　成語の翻訳技法……5

1.1 成語を熟語に……7

1.1.1 成語を成語に……8

1.1.2 成語を四字熟語に……15

1.1.3 成語を諺に……19

1.1.4 成語を慣用句に……22

1.2 成語の直訳……26

1.2.1 現代語で成語の意味を説明する……27

1.2.2 文語で成語の意味を説明する……33

1.3 成語の意訳……38

1.3.1 構成成分の省略翻訳……39

1.3.2 二重的意味構成から生じた省略翻訳……43

1.3.3 成語を擬声語・擬態語に訳す……48

第二章　成語の翻訳における落とし穴……53

2.1 成語を成語に訳す場合の落とし穴及び問題点……53

2.1.1 日本語での使用率から生じた問題点……53

2.1.2 日本語での意味変遷から起こった翻訳の落とし穴……55

2.2 成語の特徴から出た翻訳の問題点……57

2.2.1 雅言的特徴から分析する……57

2.2.2 文化要因が多い特徴から分析する……59

第三章　成語の翻訳法のまとめ……61

参考文献……66

謝辞……69

厦门大学博硕士论文摘要库

目　录

序论……1

第一章　成语的翻译法……5

1.1 译为熟语……7

1.1.1 译为成语……8

1.1.2 译为四字熟语……15

1.1.3 译为谚语……19

1.1.4 译为惯用句……22

1.2 成语的直译……26

1.2.1 现代日语解释翻译法……27

1.2.2 日语文言解释翻译法……33

1.3 成语的意译……38

1.3.1 省略组成部分的翻译……39

1.3.2 省略构成意义的翻译……43

1.3.3 译为拟声拟态词……48

第二章　成语翻译的几个问题……53

2.1 翻译为成语的几个问题……53

2.1.1 因日语成语使用率而引起的问题……53

2.1.2 因日语成语意义不同而造成的翻译错误……55

2.2 由成语特征而引起的翻译问题……57

2.2.1 从成语的雅言特征分析……57

2.2.2 从成语的民族文化特征分析……59

第三章　成语翻译法的总结……61

参考文献……66

致谢……69

厦门大学博硕士论文摘要库

序 論

成語は諺などと同じように、中国語での熟語の重要な一部である。しかし、今までの中国語と日本語の熟語における翻訳研究は主に慣用句と諺を中心にしており、「歇后语」も研究の的となっている。これに対して、成語については翻訳研究も行われているが、量がわりに少ない。そのため、成語の中日翻訳研究がかなり必要だと思う。その理由はいくつか挙げられると思う。

まず、中国語から見てみよう。中国語では成語の数が多く、使用範囲が広範である。『漢語成語大辞典』では 17000 あまりの成語を収録している。使用範囲から見れば、諺、「歇后语」、慣用句もよく使われているが、どちらも口語の特徴を帯びているので、話し言葉として使う場合が多いと思われる。文学作品や文学的科学文章や政論文章でも使われているが、数が少ない[①]。これに対して、成語は口語でよく出る上に、各文体でもよく出てくる。文学作品では成語の使用頻率が高く、老舎の『正紅旗下』では 220 の成語が使われている。一方、政論でも使われており、毛沢東の『新民主主義論』でも『実践論』でも成語の実用例が多くある。又、応用文と専門的科学文章でも、成語が厳粛性と簡約性の特徴を帯びているので、多少使われている。

中国語では、成語は諺などより、地域的、時間的制限が弱いと見られている。特に、諺は地域性が強く、農業、気象、風土に関するものが最も代表的である。例えば、西北地方では「好吃不过饺子，舒服不过躺着（おいしい食べ物は餃子、気持ちよいのは横になること）」と言うが、餃子は南地方では一番人気な食品とは言えず、西北地方ほど普遍的ではないので、あまり通じていない。又、昔

[①]黎运汉　『汉语语体风格学』　广州:广东教育出版社　2000.　P155、157、159

厦门大学博硕士论文摘要库

の諺は今の時代では通じないこともある。例えば、司馬遷の『史記』では「得黄金百斤，不如得季布一诺（楚の国の人は「金百斤を得るより季布の一つの承諾を得ること」と言う）」という文があるが、今はあまり使われていない。「歇后语」、慣用句は特に地域と時間に制限されており、地域や時代により、よく変わっている。これに対して、ほとんどの成語は書物でできたものであり、或いは口頭でできたものを書物により固定したものである。又、書物などにより伝播されて、全国に通じるようになり、地域性と時間性をあまり帯びていないことが一つの大きな特徴である。使用は時間的、地域的制限が極めて少ないので、その使用範囲が極広範である。

成語は数が多い上、使用面で共通性があるので、使用頻率も高い。中国人の成語好きには定評があり、全篇成語の馬季と唐傑忠による漫才もあるほどである。それだけ、成語が人々に親しまれていることがわかる。頻繁に使われているため、翻訳では避けられないものになっている。成語をどのように正確に翻訳するかが翻訳者にとって頭を痛めることである。これからは日本語から見てみよう。

日本語にも成語があるが、殆どは中国語から借用されたもので、故事成語とよく言われている。調べてみると、諺や四字熟語の辞典に収納されている。辞典により数は違うが、中国語と比べると少ない。例えば、『新明解四字熟語辞典』には、千語ぐらいしか入っていない。それに、借用後、意味が増減したりして、中国語の意味と異なるものが数多くある。又、使用頻率も中国語より低い。身近な日本語の小説を調べてみると、成語の実用例がびっくりするほど少ない。例えば、『我輩は猫である』、『雪国』などは、実用例があまり見つからなかった。これは中国語の小説であり得ないことである。それで、中国語で多用される成語をどのように日本語に翻訳するかという研究は重要な課題になっている。

厦门大学博硕士论文摘要库

しかし、成語の翻訳はとても難しいと言われている。熟語は国々の習慣、歴史などに深く絡んでおり、具体的な意味を伝えると同時に、その熟語に含まれる文化的要因をどう扱うかも工夫しなければならない。成語も例外ではない。成語は内容から見ても形式から見ても民族性が強い。内容から見れば、出典を持つものが多い。成語はわが国の歴史、習慣などに最も関係深い熟語だと言える。その翻訳作業は簡単な言語の転換ではなく、それに含まれる文化的要因をどのように日本語で表すか、どのような形で表したら読み手に理解してもらえるかと色々考えなければならない。言い換えれば、成語の翻訳は言葉の翻訳というよりも文化要因の翻訳という方が適切である。形式から見れば、成語は普通、四字の形式を取っており、韻律整然の上、簡約の特徴を帯びている。それで、翻訳の中で、文化背景と言語面の特徴を訳文でどのように表すかということが難題だと見られる。

残念ながら、今まで成語の中日翻訳研究は少ない。中国では、一般的な中日翻訳に関する本では、熟語の一種として多少論じているが、熟語研究自身が大きなテーマなので、それぞれの項目を詳しく研究することがあまりできていないのは事実である。例えば、『新編日漢翻訳教程』では、熟語を全体として扱っていて、熟語の特徴をそれぞれ詳しく説明していないし、それに応じた具体的翻訳策も論じていない。一方、その翻訳研究に関するものも少ない。1995 年の『日語学習与研究』一号で、「漢語成語的日訳方式」が発表された。しかし、その文は成語の翻訳方法を直訳と意訳だけに分けている。文章の幅に制限されたせいか、詳しく研究されていなかった。

一方、日本では成語の翻訳に関する論文や本などは極めて稀である。このため、小論では文学作品における成語を含んだ原文と訳文を対照しながら、その翻訳方法を全体的に把握して、その規律を見出してみたいと思う。

その動機で、小論は『紅楼夢』での翻訳例を用いて、研究を行う。第一章で

厦门大学博硕士论文摘要库

はその基本的翻訳技法を考察する。第二章では成語の翻訳作業にどんな落とし穴があるか、翻訳技法になにか問題点があるかなどを究明したいと思う。それから、第三章では成語の翻訳技法、また注意することをまとめる。

厦门大学博硕士论文摘要库

第一章　成語の翻訳技法

本文は主に成語の中日翻訳技法をめぐり、論じようと思う。日本語にも熟語があり、一部の成語は相応の日本語の熟語に訳すことができる。これらの熟語には中国語から借用した成語もあるし、日本で作られた四字熟語もある。又、諺やほかの慣用語に訳したものもある。成語自身も熟語の一種であるので、熟語に訳すと熟語の印象を保つことができる。熟語を熟語に訳すと言えば、当然ではないかと思われがちであるが、実は、翻訳の落とし穴が常に出てきて、結構研究の価値がある課題であると思う。一方、熟語に訳せなかった場合も多い。この場合は基本的には直訳と意訳に分けることできると思う。両方とも運用率が高いのである。

成語を熟語に訳すほかに、直接に原文での成語を説明して、その意味を説明するのも普通である。しかし、前にも述べたように、成語は古い歴史を持っており、古代中国語から深く影響を受けている。そのため、文語の形式を取って訳すことが相当ある。無論、現代語の形を取って訳すこともある。又、直訳の場合は、注記をつけることも多い。この注記は一般的な説明的なものもあれば、熟語を注記とするものもある。特に、後者は今までの翻訳著作ではあまり論じられていないので、本文では特に注意を払い、論じようと考えている。その働きについても評価が必要ではなかろうかと考えている。

また、成語を意訳する場合も多い。実際の翻訳例を調べたところによると、構造の省略翻訳、意味の省略翻訳、擬声擬態語翻訳がもっとも多く使われているという認識が出てきた。構造の省略翻訳と言うのは、文字通り、成語の一部を省略して翻訳することであるが、この翻訳技法はどのような成語に適用するかという問題が出てくる。意味の省略翻訳は成語の表面的意味を捨て、それに

厦门大学博硕士论文摘要库

象徴された内層的意味しか翻訳しないことである。さらに、擬声擬態語に翻訳することであるが、どんな成語が擬声擬態語に翻訳されるかという問題を明確にしなければならないと思う。無論、意訳は非常に大きな範疇であり、成語の翻訳技法は決して、上記三種類に限られることはないが、この三種類の翻訳技法はよく翻訳に用いられているので、本文では、これについて、研究したいと思う。

成語の翻訳技法を研究するには、翻訳の実例を十分取ることが必要である。小論では中国の四大名作の中の『紅楼夢』を中心にして、例を取ることにした。その理由は三つあり、次のようである。

まず、『紅楼夢』は四大名作の一つであり、完成されてから今に至る非常に高く評価されている。この本についての研究は百年にもわたり、盛んに行われている。その研究は中国に限らず、アジア諸国やヨーロッパ各国でも展開されている。日本にも紅楼夢研究会があり、それに現れている思想、それに移っている世情はもとより、言語芸術も好評を受けており、よく研究されている。そこには、成語の運用も無論含まれている。

それに、『紅楼夢』では成語例が多い。調べたところでは少なくとも 1000 語ぐらいある。これらの成語の中には、出典があり、書面的なものもあるし、俗語からできた、今日でも口語でよく使われているものもある。数量が多い上、種類が豊富なのである。『紅楼夢』のように、こんなに多くの成語を運用した文学作品は少なく、曹雪芹のように言葉遣いがこれほど高く評価された作者もあまり多くない。このため、小論は『紅楼夢』を中心にして、実例を取ることにしたのである。

又、『紅楼夢』のような著作を訳すには、言葉遣いなどの面で、翻訳者が色々工夫したに違いない。筆者はこれらの成語をどのように訳したかを調べて、翻訳者の工夫から、成語の翻訳技法を分析し、そのルーティンを把握してみよう

厦门大学博硕士论文摘要库

Degree papers are in the "Xiamen University Electronic Theses and Dissertations Database". Full texts are available in the following ways:
1. If your library is a CALIS member libraries, please log on http://etd.calis.edu.cn/ and submit requests online, or consult the interlibrary loan department in your library.
2. For users of non-CALIS member libraries, please mail to etd@xmu.edu.cn for delivery details.

厦门大学博硕士论文摘要库